

草津型アクティブ・ラーニング 学び方の系統表

	課題・問題の発見		課題・問題の定義 解決の方向性の決定		解決方法の探索 計画の立案		結果の予測 計画の実行		振り返り 新たな課題発見	
	ICT	学び方	ICT	学び方	ICT	学び方	ICT	学び方	ICT	学び方
低学年	○	電子黒板やタブレット端末に提示されたものを見て、同じこと、ちがうことを見つける。		気づいたこと、見つけたことを全体の中で交流し合い、自分と同じ意見、ちがう意見を比べる。	○	タブレット端末を用いて実物を写真に撮り、拡大しながら観察し、観察メモにまとめる。		調べたことを、絵や図を提示しながら口頭で説明する。		めあてに応じて、自分のがんばりを3段階で表す。
	○	タブレット端末に提示された資料を、拡大して見る。		わからないこと、不思議に思うことの中から、知りたい・わかりたいものを見つけ、課題を持つ。		学習課題を解決するための自分なりの方法を考えたり、ペアやグループで相談したりする。	○	ノートに書いた自分の考えをタブレット端末で撮影し、電子黒板に送信することで意見を共有する。		学習を通して不思議、疑問に思ったことを書き記す。
		視覚的情報以外の資料や事柄を比べて、同じこと、ちがうことを見つける。	○	気づきや、発見したことについて、タブレット端末を見合いながらペアやグループで話し合い、課題を持つ。	○	タブレット端末で実物を写真撮影したり、必要に応じて校外での見学にタブレットを持参したりして、記録を残す。		友だちの発表を見聞きし、提示方法の工夫を見つけたり、伝えたりする。		めあてに応じて、学習の到達度を自分の言葉で表す。
					○	学習課題について、自分なりの予想や見通しを持ち、全体の中で発表したり、電子黒板で共有したりする。	○	調べたことをタブレット端末に書き入れ、グループ内で交流したり、電子黒板で共有したりする。	○	タブレットに書き込んだ考えや使用したデータを共有フォルダに保存する。
中学年	○	電子黒板やタブレット端末に提示された資料や事柄を、いろいろな視点から比べたり、分類したりする。	○	比較・分類して気づいたことを、電子黒板やタブレット端末を介しながら、全体・グループで交流し、課題を持つ。		図書資料の中から、必要な情報を見つけ、ノートやワークシートにメモする。	○	調べたことを図やグラフ・写真を交えて口頭やポスター、電子黒板・タブレット端末を用いて説明する。		具体的な場面をとらえて、自分の活動のがんばりや反省点をふり返りに表す。
	○	必要に応じて、電子黒板に提示された資料を手元のタブレット端末にダウンロードして、詳しく見る。		課題について、自分なりの理由を示しながら予想を立てる。	○	インタビューを用いた調べ学習を行う。インタビューの際にはタブレット端末のカメラ機能を用いて動画撮影して記録する。		友だちの発表を見聞きし、工夫された提示方法を学び、真似る。		結果の中から、新たに気づいたこと、疑問に思ったことを見つける。
		意図や目的に応じて、デジタル資料・図書資料や事柄など、2つの資料を見比べたり、分類したりする。		課題について、既習の知識をもとにした予想を立てたり、解決方法を考えたりする。		課題解決のための質問事項を考え、アンケートを作成、実施、集計する調べ学習を行う。		友だちの発表の工夫を参考にし、自分の発表に取り入れたい、改善を加えたりする。		具体的な場面や結果をもとに、自分の活動の成果や課題を言葉や数値評価で表す。
					○	必要に応じてタブレット端末を用いて、インターネットを使った情報収集を行う。	○	必要に応じて、ローマ字入力した文字情報を提示しながら発表する。	○	タブレットに書き込んだ考えや使用したデータを必要に応じてプリントアウトし、ノートに添付する。
高学年		意図や目的に応じて、複数の資料や事柄を見比べたり、分類したりする。		課題について、複数の根拠や資料を提示しながら、ノートに予想を立てる。	○	課題の解決や、考えを深めるためにディベートを行う。ディベートでは、授業支援システムを用いて、全体の意見を共有したりグループ化したりする。	○	調べたことを図やグラフ・写真、撮影した静止画・動画、プレゼンソフトを用いて説明する。		学習の過程・方法について省察し、成果と課題を明らかにする。
			○	必要に応じて、タブレット端末でインターネットを活用して、予想を立てたり、解決方法を見つけたりする。	○	課題解決方法に応じて情報収集の仕方を選択し、タブレット端末の各種機能を活用する。		他資料から「引用」して、自分の資料作成に用いる。		
		資料や事柄と既習事項や既習体験を関連づけながら、自分の考えを根拠を示しながら表す。		思考ツールを用いて、課題について考えを整理したり、グループの意見を集約したりして、解決方法を見つけたり、活動計画を立てたりする。		調べたいことを解決するために、自分で実験方法を考え、実行する。		児童の必要に応じて、ジグソー法を用いて、活動の分担・協働作業を行い、お互いの発表を交流し合う。		学習の成果と課題をもとに、今後のめあて・見通しを持つ。
	○	必要に応じて提示された資料と関連する資料をインターネットを用いて、課題を見つける。			○	学習課題に応じたグループごとに、ディスカッションやタブレットを用いた協働演習を行う。	○	体裁を整え、効果的な表現にするために、デジタルでの文字入力、図・写真の編集、グラフの作成を用いる。		
中学校 一年生		話題について思いついたことを書き出し(マッピング)、マッピング図を見て気づきや疑問を創出する。	○	タブレット端末に示された情報や資料を見ながら、学習課題・解決方法を決定する。	○	収集した数的データを表計算ソフトを使って集約・整理し、グラフにまとめる。		課題、予想、仮説、実証、結果の学習の流れをレポート形式にしてまとめる。レポート形式のまとめかたを学ぶ。		自己評価をもとに、今後の活動のめあて、見通しを持つ。
		付箋を使って、話題や事象を個人またはグループ内で分類・整理する。		気づきや疑問を、文献資料・図書資料や、生活の身近な場面と照らし合わせ、学習課題として設定する。	○	インターネット上の情報の、著作権・肖像権の利用範囲を確認するとともに、情報の真偽を、多メディアと比較・検討して証明する。	○	主旨を明らかにし、わかりやすいレポートの作成のために、内容の一部をデジタル機器を用いて作成する。	○	タブレット端末を介して、級友とリアルタイムでコメントをやりとりし、相互評価を行う。
		マンダラートを使って話題や発想を広げ、気づきや疑問を創出する。	○	図書資料・文献資料・インターネットでの情報、その他資料を見てテーマを絞る。		必要な情報を集めるために、計画した調査方法を修正したり、追加したりする。	○	パンフレット、HPなど、広く情報発信できる手段で発信したり、複製が容易なデジタルデータで作成、共有する。		成果物を友達と読み合い、意見・感想を述べるとともに、自らの活動の成果・課題をふり返る。
	○	新聞・雑誌・広報誌などのから、社会的関心の高いものを選択する。デジタル新聞・ネット記事等も資料として使用する。		インタビュー、現地調査の方法を考え、アポイントメントや依頼文書の作成等の事前準備を行う。	○	電話・メール、テレビ会議システムを使って、必要な情報を収集する。	○	文字量、フォントサイズ、フォント色、図・表の挿入を意識した掲示用リップを作成(アナログまたはデジタル)し、発表する。		自己評価、他者評価をもとに、今後の活動のめあて、見通しを持つ。
		マンダラートやウェビングなどを用いて発想を広げ、気づきや疑問を創出する。	○	電子黒板・タブレット端末に提示された写真の比較、統計資料の比較、話し合いを通して学習課題を決定する。		集めた情報の評価(発信者、日付、根拠、他の可能性の吟味等)を行い、情報の取捨選択を行う。	○	レポート、新聞、寸劇、冊子、HP、ポスターなど、発信相手に応じて、アナログ・デジタルを使い分けながら発信する。		成果物を友達と読み合い、意見・感想を述べる。
中学校 三年生										将来、自分にとって必要な能力、進路にそった学習課題を持つ。